

《担当者名》遠藤輝夫

## 【概要】

医療における検査部門の役割や管理運営方法について学習することは、臨床検査システムの理解を深めるために重要である。本講義では、臨床検査の役割と使命、検査部門の組織と業務、運営、精度保証について学び、検査部門のマネジメントを理解するとともに、急速な検査技術の進歩や医療環境の変化にも即応できる臨床検査技師としての知識を習得する。

## 【学修目標】

- 1) 臨床検査の管理・運営能力を形成するために、医療における検査部門の役割や検査の質を保証する方法を身につける。
- 2) 診療目的に応じた臨床検査の種類を説明できる。
- 3) ISO15189、標準作業手順書（SOP）について説明できる。
- 4) 検体の受け入れから結果報告までの流れ、検査結果の付加価値を高める方法を説明できる。
- 5) 正確度と精密度を調べる精度管理方法を説明できる。
- 6) x-R管理図の読み方を説明できる

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	臨床検査技師の役割と使命 臨床検査の意義 検査管理の概念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律からみた臨床検査技師の定義と業務</li> <li>・臨床検査技師の卒後教育</li> <li>・目的に応じた臨床検査</li> <li>・医療機関における検査部門の役割</li> <li>・検査の倫理</li> </ul> 教科書：第1章-第3章	遠藤輝夫
2	検査部門の組織と業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子媒体を用いたシステム化</li> <li>・中央化から在宅検査までの変遷</li> <li>・検査部の組織、業務</li> <li>・チーム医療</li> </ul> 教科書：第4章	遠藤輝夫
3	検査部門の管理と運営1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務管理</li> <li>・検査機器管理</li> <li>・物品管理</li> <li>・情報管理</li> <li>・財務管理</li> </ul> 教科書：第5章 -	遠藤輝夫
4	検査部門の管理と運営2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全</li> <li>・感染対策</li> <li>・安全衛生管理</li> </ul> 教科書：第5章 -	遠藤輝夫
5	検査の受付と報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療情報システムを用いた受付と報告</li> <li>・検体の前処理</li> <li>・検査結果の報告と保存</li> </ul> 教科書：第6章	遠藤輝夫
6	精度保証1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精度保証の概略</li> <li>・基本統計量</li> </ul> 教科書：p.95-114	遠藤輝夫
7	精度保証2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・差の検定</li> <li>・精密度と正確度</li> </ul>	遠藤輝夫

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		教科書：p.95-114	
8	精度保証3	・誤差の概念と誤差の許容限界 ・生理的変動と測定技術変動 教科書：p.104-114	遠藤輝夫
9	精度保証4	・管理限界 ・単位 教科書：p.115-118	遠藤輝夫
10	精度保証5	・精度管理法の分類 ・内部精度管理法（x-R管理図法と読み方） 教科書：p.118-126	遠藤輝夫
11	精度保証6	・内部精度管理法（x-R以外の管理図法と読み方） 教科書：p.118-126	遠藤輝夫
12	精度保証7	・外部精度管理図法と結果の解釈 ・検査過誤の管理 教科書：p.126-130	遠藤輝夫
13	精度保証8	・標準化 教科書：p.130-133	遠藤輝夫
14	臨床判断値1	・感度、特異度、精度、再現率、適合度 教科書：p.134-138	遠藤輝夫
15	臨床判断値2	・カットオフ値、ROC曲線 教科書：p.134-138	遠藤輝夫

#### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験80% 課題レポート20%

#### 【教科書】

高木 康 他 編集「最新臨床検査学講座 検査総合管理学」医歯薬出版 2006年

#### 【参考書】

戸塚 実 他 編集「最新臨床検査学講座 臨床化学検査学」医歯薬出版 2006年

（一社）日本臨床衛生検査技師会 編集「臨床検査精度保証教本」（一社）日本臨床衛生検査技師会 2019年

日本臨床衛生検査技師会 監修「品質保証・精度保証」じほう 2020年

谷直人 監修「POCT」測定認定士教本（公社）日本臨床検査同学院 2020年

（公社）日本臨床検査同学院 編「二級臨床検査士・緊急臨床検査士 資格認定問題集 2010-2017年版」（公社）日本臨床検査同学院 2017年

芝 紀代子 他 監修「臨床化学テキスト」日本臨床検査同学院 通信 臨時増刊 第3号 改訂2版2016年

#### 【備考】

資料を配布する

#### 【学修の準備】

第6回目以降の講義内容は、第2学年次に行った臨床化学の教科書や講義資料も見直すこと。

各回の授業内容について、教科書の該当ページを事前に読んでおくこと（80分）

復習は、教科書や配布資料を活用し、学習を深めること（80分）

**【ディプロマポリシーとの関連性】**

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP3) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。

**【実務経験】**

遠藤輝夫（臨床検査技師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関での実務経験を活かし、医療スタッフに信頼される臨床検査室の構築について講義する。